



住宅地	商業施設	復興公営住宅計画概要
2K	157戸	
3K	40戸	
4K	45戸	
DK	16戸	
2DK	4戸	

片山佳紀  
福屋研究室

設計主旨

現在の学校教育の中でこどもたちは教養を育んでいるのだろうか?

産業構造の変化に伴う経済合理性の追求により、現在では教育でさえ合理性の考えのもとに行われている。

「教育サービス」が「教育」に取つて代わり、「教育サービスの提供者(教師)」と「教育サービスの消費者(生徒)」という構図が浮かび上がる。

教育サービスは必要なだけの知識を与えることを目的とし、効率的な力リキュラムに沿つて行われる。

本計画では、「こどもたちを育てるのは地域である」という視点に立ち、地域の人と交流し、その関係の中から学校の教育ではない知識や教養を身につける場を提案する。

2013年10月には新たな商業施設が開業し、加えて震災復興公営住宅の整備が進められている。憩いの場である広瀬川若林緑地で内にこどもたちの教養を学ぶ場を提案するとともに、公営住宅へ入居する方々などあらたにこの地域の住民となる方と従来の住民との関わりの場を提案する。

現在、近隣北西側には復興事業と一緒にとなった官民の大規模開発が進行中である。

2013年10月には新たに商業施設が開業し、加えて震災復興公営住宅の整備が進められている。

憩いの場である広瀬川若林緑地で内にこどもたちの教養を学ぶ場を提案するとともに、

公営住宅へ入居する方々などあらたにこの地域の住民となる方と従来の住民との関わりの場を提案する。

大型商業施設として食品スーパー、ドラッグストア、雑貨店がすでに開業し、他社の出店計画が進行中である。

これら商業施設の開業は以前とは異なった人の流れを発生させ、これまでこの地域を訪れた人が訪れる機会をもたらしている。

災害復興公営住宅

「若林西復興公営住宅」では計152戸の戸主が整備される。

入居者はこの地域の一員となる。入居者が地域住民と打ち解け、共に交流を楽しむ場が必要ではないだろうか。

Program

緑地の中に「学び」の行為が行われる。建築内外で積極的に学びが行われ、その様子が内からでも外からでも互いに感じられる。

地域住民が気軽に利用ができる場も加え、地域住民の交流を促す。

これまでの「学び」の場が、地域住民交流の場それそれが繋やかに繋がれる。

教養とは

普段とはどんなものであらうか?

企画性の追求により失われるであろう項目を以下に挙げる。

・創造力

・表現する力

・工夫力

・観察力

・協調力

・問題解決力

・実験力

・想像力

・表現力

・創造性

・表現性

・表現的

・表現的